国際協力 年報

2021 第23号

（令和3年度）

社会医療法人 雪の聖母会 聖マリア病院

巻頭言

2019 年末に発生した世界的なコロナ流行はなかなか鎮静化しないまま、当院の 2021 年の国際協力事業も前年に続き非常に制限の多い環境下での活動となった。コロナ制限という新たな社会環境の中では海外に出向く事自体難しく、従来型の考えでは何も活動できなくなった。コロナの世界蔓延はいつ鎮静化するとも判らぬ状況だったため、この制限された社会環境下で多くの組織が日常の社会活動を取り戻そうと奮闘し、会社や学校などはインターネットを利用した在宅ワーク、リモート授業が実施されるようになった。結果的にこの流れは人間社会の既定の行動を一変させる呼び水となり、これまでの活動の仕方を一変させる引き金となった。

当院の国際協力活動も現地滞在での活動ができなくなり、IT を使っての遠隔活動に移行した。当院の国際協力活動は、その多くが JICA や厚生労働省からの資金を得ての活動であり、コロナという不測の事態が外部条件として発生したからと言って、契約が終了するわけではない。それに、現場での問題は継続しているのだから、コロナ下で現場に行けない、という外部条件だけで活動を中止するのではなく、この環境下でどうやって活動に取り組むか、という考えが求められた。考えようによっては日本人が現場に滞在して活動する、という活動手段が取れなくなったのであるから、IT を使って現地職員に活動を代行してもらう、という考えで我々は活動投入の方法を工夫した。IT による遠隔活動の有効性はまったくの未知数であったが、遠隔活動での業務継続を進める以外、打開の方法はなかった。

十分な下準備をする時間もないまま、怒涛の如く始まった IT による遠隔活動であったが、この２年余りの経験でその潜在力がだいぶわかってきた。現時点ではまだ限界があり、対面方式の活動のようにはうまくいかないと感じる場面もあるが、IT 機器の実力は今回の経験を経て更に多様な事のできる使い勝手のいいものへと改良が加えられていくと考えられるから、今後は IT の果たす役割がもっと大きくなっていくと考えられる。特に IT は社会インフラの整っていない途上国でも大きな力を発揮する事が判った。電線敷設や道の建設が進まなくても、IT を使えば遠隔教育が可能であるし、情報交換も容易になるから、今後途上国での IT の利用は多方面で急速に広がっていくものと予想される。

国際協力活動は、突き詰めて言えば人材育成活動であり、教育活動である。人材を育成するためには、色んなステップがあり、知識、技術、実践力など、学習者の習得度に応じて様々な指導方法の考案が必要になる。最近、指導方法としてよく IT ネットワークや教材を用いるが、IT は教育活動と親和性が高い。また IT は、アクセスの問題を軽減し、これまでアクセスの難しかった地域を容易に活動地域に取り込むことができる。コロナが齎した IT 利用の機会によって、IT そのものが持つ利点が明確になった。今後、途上国での活動を企画する場合、IT 利用も念頭においた新しい発想で活動を企画する力が求められてくるのではないかと考えられる。

国際事業部長　浦部　大策

目次

巻頭言

第1章　国際協力活動概要
第１節　沿革 …… 1
第２節　基本理念および組織・運営 …… 2
第３節　聖マリアグループおよび国際事業部の国際保健活動 …… 5

第2章　業務報告
第１節　専門家派遣 …… １１
第２節　研修員受入 …… １２
第３節　緊急災害医療 …… １３
第４節　韓国との交流 …… １４
第５節　NPO 法人 ISAPH …… １５
第６節　経理 …… １６

第3章　活動報告
１．個別技術協力
１）インドネシア　アイルランガ大学病院 …… １７
２．JICA 研修員受け入れ
１）課題別研修「病院経営」 …… １８
２）ヨルダン青年研修 …… １９
２．韓国との交流 …… ２０
３．NPO 法人 ISAPH
１）ラオス 母子保健プロジェクト …… ２０
２）マラウイ JICA 草の根技術協力事業 …… ２１
４．学校法人聖マリア学院大学
１）アフリカ・ハイチ青年研修 …… ２３

付属資料
資料 1.　令和３年度の業績 …… ２５
資料 2.　専門家派遣状況 …… ２６
資料 3.　国別研修員受入状況 …… ３２
資料 4.　国際協力ニュース …… ３４

編集後記

第 1 章　　国際協力活動概要

第１章　国際協力活動概要

第１節　沿革

1981 年、聖マリア病院において１つの会議が開催された。会議の議題は、「今後の聖マリア病院の運営方針」についてであった。厚生省（現、厚生労働省）病院管理研究所の石原信吾先生等を交えて議論が展開された。当時はまだ、現在のような少子高齢社会や医療改革等の医療を取り巻く社会問題は生じていなかったが、高齢化社会への移行、また医療費の増加に伴う社会保障全体の変革が生じるであろうとの結論になった。その後数回の議論を重ね、聖マリア病院の今後の進むべき方向として、聖マリア病院が位置する地域での医療に対して可能な限りの展開を行うこと、また、地域の医療の充実に伴う病院機能を開発途上国への医療協力にシフトすることとした。早速、国際医療協力を行うための調査を開始した。当時はまだ国内には病院組織体として国際協力を本格的に展開している病院はほとんどなく、キリスト教等の宗教法人が開発途上国の最貧国に対して医療援助を行っているのが実状であった。最終的には、病院の国際協力を行うための組織体として、また職員の専門家としての育成のためにも国際協力事業団（現、独立行政法人国際協力機構：JICA）の業務を受託することとした。

1982 年、国際協力事業団の依頼で、エジプト国カイロ大学小児病院の看護師 2 名の研修生を受け入れた。また 1984 年には 3 名の看護師をカイロ大学小児病院に派遣し、プロジェクト方式技術協力に伴う国際協力が本格的に開始された。その後聖マリア病院の国際協力は、国際協力事業団の業務を中心としつつ展開されたが、1988 年には、韓国カトリック病院協会（現、韓国カトリック医療協会）との技術協力の提携を行い、民間での医療協力を開始した。また関連する聖マリア学院短期大学（現、聖マリア学院大学）においては、1990 年アメリカのマウントセントメリー大学との姉妹校の提携を行った。また 1995 年には、国際協力事業団のコンサルタントとしての登録を行った。現在、コンサルタント業務、専門家の派遣、研修員の受け入れ等の国際協力より国際交流まで含めた幅広い展開を行っている。なお、2004 年には、これまでの聖マリア病院における幅広い活動をベースに、より多様な活動を展開するために NPO 法人 ISAPH（International Support and Partnership for Health）を創設した。

1982 年以来の聖マリア病院での活動の結果、1990 年には関連する聖マリア学院短期大学の保健婦科コースにわが国最初の国際看護コースの開校を行うことができた。また、1994 年には、聖マリア病院が WHO コラボレイティングセンターとして指定を受けた。現在 1981 年以来の開発途上国を中心とした研修生の受け入れは、127 カ国延べ 1,865 名（2022 年 3 月末日現在）に及んでいる。

また短期派遣も含めた専門家の派遣は、44 か国延べ 670 名（2022 年 3 月末日現在）に及んでいる。これらの国際協力の活動に対して、1987 年には、国際協力事業団総裁表彰を、また 1994 年には保健文化賞を聖マリア病院の組織として受賞した。

第 2 節　基本理念および組織・運営

１．基本理念

聖マリア病院は、1953 年にカトリックの信者である井手一郎先生および従兄の井手速見先生により開設された。

基本理念は、「カトリックの愛の精神による保健、医療、福祉及び教育の実践」－愛の精神とは主イエズス・キリストの限りない愛のもとに、常に弱い人々のもとに行き、常に弱い人々と共に歩むことーを運営の理念としている。具体的な運営方針は、①安全で質の高い医療を提供する　②医療サービスを通じ、患者幸福を実現する　③救命救急医療を通じ、断らない医療を推進する　④地域の医療機関と連携し、地域完結型医療を実現する　⑤保健・医療を通じて国際社会に貢献する　⑥全職員への継続的な教育を実践する　⑦県指定の拠点病院として、役割の実践と機能向上を目指す、である。

２．組織・運営

現在の聖マリア病院の規模は、総病床数 1,097 床（2022 年 3 月 31 日現在）で、単独の一般医療施設としては、大規模の民間病院といえる。また関連する機関として、学校法人聖マリア学院大学、学校法人保健医療経営大学、社会福祉法人平和の聖母、特定非営利活動法人 ISAPH、雪の聖母会健康保険組合で構成されている。

これらの組織の中心である聖マリア病院は、社会変革また地域の医療動向、さらには患者のニーズに的確に対応するため組織的にはライン・スタッフ制の導入で運営を行っている（4 頁の組織図を参照）。

国際事業部は（2008 年 12 月旧国際協力部から組織変更）、医療法人の下におかれ、スタッフ的な部門としてグループ全体の国際協力を調整している。国内、国外の情報の収集、職員の教育、専門家の派遣、さらには研修員の受け入れ等ライン部門との調整を行っている。現在、国際事業部の職員は、医師 3 名（内、臨床兼務 1 名）、事務職員 7 名、海外事務所駐在職員 3 名が配置されている。

運営上、聖マリア病院は民間医療機関として他の何らの機関よりの援助も受けていない。社会医療法人として税法上の優遇措置は受けているが、解散の場合は国または福岡県に帰属する公益法人である。個人の所有権が全くない法人である。当然のことながら運営に関して宗教法人等よりの寄付金の援助も受けていない。基本理念また運営方針に基づく事業の展開の結果、損益上の利益は聖マリア病院の再生産のために費やされている。

地域の適切な医療の提供は、病院の健全なる経営の上に成り立つとの経営理念で運営されており、不採算部門の 24 時間 365 日の救急医療また国際協力等をカバーしつつ経営されている。

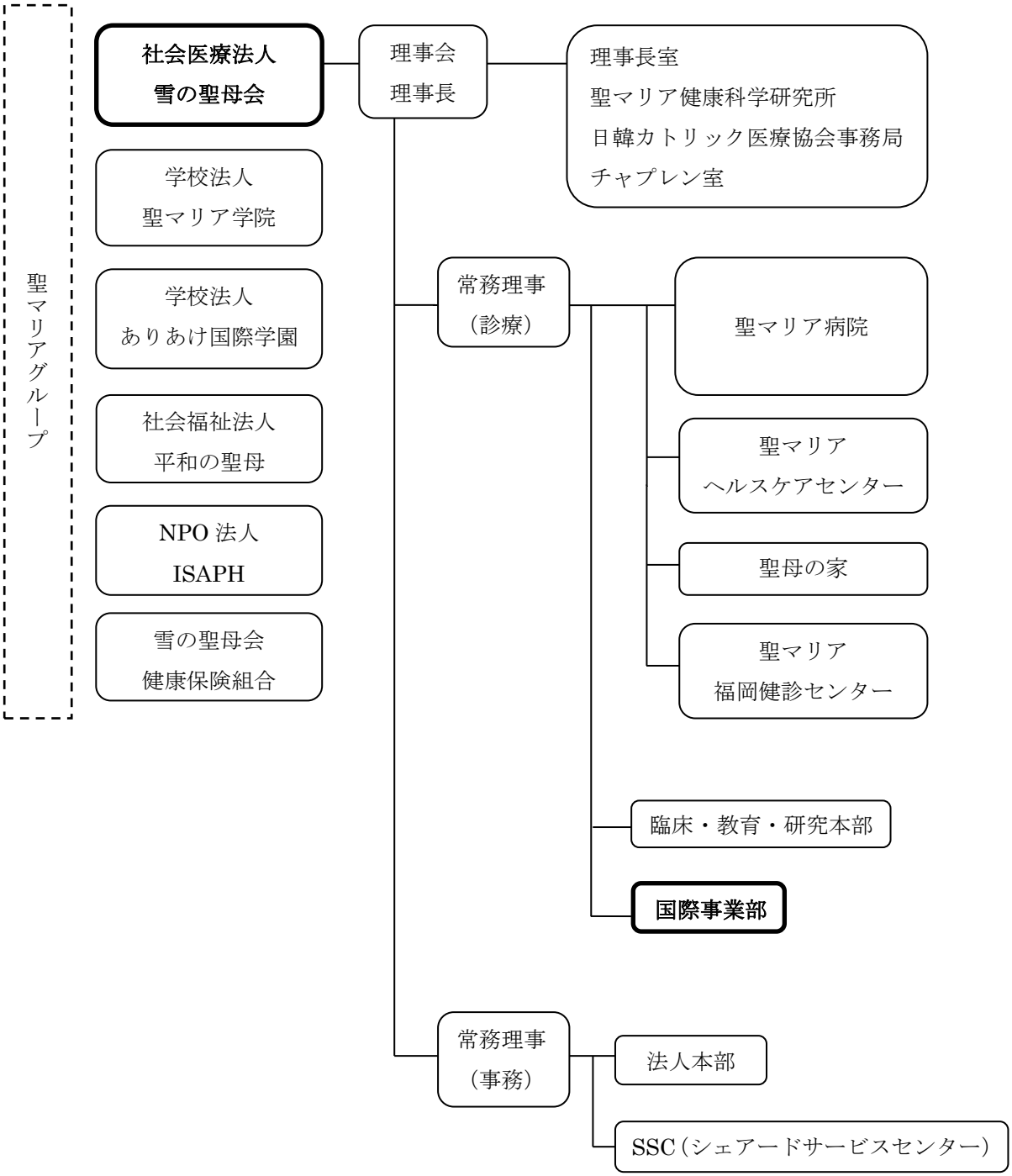
聖マリアグループの概要

社会医療法人雪の聖母会聖マリア病院は、1953 年、「カトリックの愛の精神に基づき医療活動を行う」ことを目的として、内科・小児科・放射線科を標榜し結核病棟 79 床にて開設された。1964 年には、結核患者の減少に伴い当時社会問題となっていた交通事故などの外傷に対する 24 時間体制の救急医療を開始した。その後 24 時間 365 日体制の救急医療を基盤としつつ、産科・新生児科より高齢者医療までの展開を行うべく、新たな病棟の建設を行った。2014 年 10 月には回復期・慢性期部門を分化し、198 床を有する聖マリアヘルスケアセンターを新設した。2022 年 3 月 31 日現在、聖マリア病院は総病床数 1,097 床の高度医療を整備した施設となっている。

この間 1971 年には住民検診・事業所検診などの公衆衛生活動部門を行うために財団法人九州産業衛生協会を設立した（後に公益財団法人福岡県すこやか健康事業団となり、2020 年 10 月に公衆衛生分野の複数法人との合併により、聖マリアグループから離脱）。また、1986 年には聖マリア学院短期大学を開校し、看護師・保健婦師・助産師の養成を開始した。1994 年には、今後の保健・医療福祉のサービスの充実のため株式会社サンループを設立（2020 年 3 月廃業）し、1995 年には、今後の障害者、高齢者のため社会福祉法人福成会（現、社会福祉法人平和の聖母）を併設した。2004 年には聖マリア病院を母体に NPO 法人 ISAPH が創設された。なお、2006 年 4 月、聖マリア学院短期大学が聖マリア学院大学へ移行開学した。さらに、2008 年 4 月には、将来の我が国の保健・医療・福祉制度や、地域の保健・医療・福祉サービスの向上に資することを目的として、学校法人保健医療経営大学を開学し、2010 年 4 月には、より高度で専門的な看護師養成を目的として、聖マリア学院大学大学院を開設した。

聖マリアグループは、聖マリア病院を中心としつつ、医学・看護教育機能をベースに乳幼児より高齢者まで含めた臨床機能を有する形態となっている。（次頁の組織図を参照）

聖マリアグループおよび社会医療法人雪の聖母会組織図



（2022 年 3 月 31 日現在）

第 3 節　聖マリアグループおよび国際事業部の国際保健活動

１．はじめに

国際社会は、不透明、不安定の中で新たな枠組みが模索されつつあるが、依然として開発途上国の多くはエイズや人口問題、感染症などの保健衛生上の課題や貧困の問題に苦しんでいる。また、新型コロナウイルス感染対策、地球環境問題など国際的な取り組みが必要な新たな分野も出現している。こうした状況でわが国はこれまでの貴重な経験を生かし、これらの問題に対し大きな役割を果たすことが期待されている。

聖マリアグループにおいては、1982 年のカイロ大学小児病院看護師の研修受け入れ以来、国際協力機構の業務を中心に、専門家派遣による技術協力、海外からの研修受け入れ、開発調査などのコンサルタント業務を行ってきた。また、韓国カトリック医療協会との技術協力、聖マリア学院大学と米国マウントセントメリー大学との姉妹校の提携など国際交流を行う一方､聖マリア学院大学（旧、聖マリア学院短期大学）にわが国最初の国際看護コースが開設され、さらに当院新生児センターが WHO コラボレイティングセンターの指定を受けた他、NPO 法人 ISAPH の創設など国際保健活動の分野を着実に歩んできた。

このように聖マリアグループでは､保健医療分野における国際協力においてわが国が果たすべき役割に沿って数多くの活動を行ってきたが、21 世紀を迎えた現在、内外の諸情勢の変化に応じた新たな対応が求められている。聖マリア病院国際協力部の設立を機に、過去の活動の総括、国際協力部年報の創刊、「国際協力ニュース」の発行など組織としての新たな活動が開始されたが、2005 年に国際協力部体制が強化されたことを機に、あらためて明確な目的にもとづいた国際協力における活動の具体的な方向性を設定した。

なお、国際協力部は 2008 年 12 月、「国際業務」と「国際協力」を業務内容とする国際事業部に改編された。

２．国際協力活動の位置づけ

聖マリア病院は、「カトリックの愛の精神による、保健、医療、福祉および教育の実践」を基本理念としており、国際協力活動はその理念のもとに掲げられた 7 つの運営方針の１つに位置づけられている。そして国際事業部（国際協力）は、その運営方針のもと、聖マリアグループの国際協力活動を担う部門として設置されている。

３．国際協力活動の目的

国際事業部は、聖マリア病院の基本理念に基づき、また現在の社会情勢に鑑みて、国際関係事項に関し、聖マリアグループ内外のインターフェースとしての役割を担いつつ、聖マリアグルー

プと開発途上国を中心とした諸外国との国際協力・交流活動を強化、発展させ、ひいてはわが国の国際貢献に寄与することを目的としている。

４．国際協力活動の目標

国際事業部は、上記目的を達成するために、以下の４項目を目標に掲げている。

1）国際保健医療活動の充実

2）国際保健医療活動の業務実施に必要な人材の育成

3）海外からの来訪者との国際交流活動の推進および広報活動の充実

4）国際協力に関する研究活動の充実

５．国際協力活動

国際事業部は、上記活動の目標を達成するために以下のような活動を検討・計画し、必要に応じて実施する。

１）国際保健医療活動の充実

（１）JICA 技術協力活動の実践

①専門家派遣の推進

JICA の技術協力プロジェクトや各種調査団を中心に専門家派遣を行う。JICA 以外のドナーによる技術協力も可能であれば活動に含める。

②海外活動との連携強化

聖マリア病院が担当している海外の技術協力プロジェクトと連絡を緊密にし、情報交換を十分に行い、必要に応じて情報提供など技術的サポートを行う。また、プロジェクトの運営や方法について協議を行うなど組織として後方支援する。

（２）NPO 法人 ISAPH との連携による海外での活動支援

① ISAPH への支援

2005 年度よりラオスにおいて、また 2013 年度よりマラウイにおいて本格的な保健医療活動を実施している ISAPH へ、国際事業部としてこれまでにも NPO 活動に対する助言や協力を行ってきたが、今後も活動に対する助言や人的協力、広報活動などに対する協力を行う。

②委託事業受入のための人的交流

JICA の技術協力に委託事業が導入される一方で、保健医療分野の専門家を擁するコンサルタントは少なく、ISAPH と国際事業部は連携しながら委託事業への協力を行う。

（３）国際緊急援助活動基盤の整備

スマトラ沖地震による津波災害やパキスタン大地震災害などの大規模災害に対して、これまで聖マリア病院として医療支援活動に関わってきた。今後も JICA の国際緊急援助隊への参加によ

る活動を本項目の活動の中心として据えるとともに、ISAPH や他の NPO 法人との連携による可能な限りの支援活動を継続する。

（４）国際保健活動に係る新規事業の開発

少子高齢社会の到来、経済グローバリゼーションの進展などによる、さまざまな社会情勢の変化を的確に捉え、地域社会のニーズへ対応する新規事業を開発する。

（５）コンサルタント事業への対応

JICA は委託事業の導入を行い、また開発調査に医療専門家組織として関わるようコンサルタント会社から共同作業の依頼もみられる。コンサルタント業務に参入するためには、人的組織的強化が必要であり、ISAPH を軸とした連携が不可欠である。

（６）在留外国人診療体制の整備

久留米地域にも外国人の居住者が増加傾向にあり、在留外国人に対する医療の需要が増大しつつある。国際事業部は、外国人患者受入推進委員会事務局（外国人患者対応担当）として、外国人診療体制整備に協力する。

２）国際保健医療活動業務実施に必要な人材の育成

（１）人材育成体制の強化

①裾野を広げる活動

日本の国際協力分野においては、人材不足が危急の問題であり、国際協力活動に従事したい人たちの人材育成と組織化を図ることが重要である。国際事業部では、当院臨床・教育・研究本部、看護部、その他関連部署と協力し、専門家として活動できる人材の育成を図る。そのため、ISAPH や既存プロジェクトとの協力のもとにスタディツアーなどの研修の場を設け、また専門家の派遣前研修を補完するための研修を行うなど教育・人材育成を積極的に行う。

②質を高めるための研修

技術協力プロジェクトに従事する専門家には、以前に比べより高いレベルの国際協力活動の専門性やスキルが必要とされるようになった。そのため、勉強会の開催、国内外の研修会やセミナーへの参加などを通じて質の向上を図る。

③その他の活動

聖マリアグループ全体として、院内語学研修（韓国語）の実施を継続し、他の言語の研修も計画する。

（２）JICA 課題別研修コースの運営、個別研修員の受け入れ

① JICA 課題別研修コースの運営

これまで、地域保健指導者および病院管理の課題別研修コースの運営を経験してきた。今後、新たな研修コース受け入れの要請があった場合、あるいは JICA へ提案する場合には、期間、研修項目、講師、担当者、効果などを十分に検討して有用で実行可能な研修内容にする必要がある。

② JICA 個別研修員の受け入れ

従来どおり、研修受け入れ機関として要請があった場合には、可能な限り受け入れるようにする。個別研修は、病院で実施されるため研修を担当する関連部署との連携を緊密にする。

（３）外国医師等が行う臨床修練病院等の指定

医師法第 17 条等の規定にかかわらず、外国医師等が厚生労働大臣の指定する病院において、臨床修練指導医等の実地の指導監督の下に医業を行うことができる特例法律による病院の指定を受け、当院で臨床実習を希望する外国医師等へ実習の機会の提供を継続する。

（４）介護人材不足と外国人労働者受入

これまで日本は、経済連携協定（EPA）の枠組み以外では介護従事者としての入国・在留を認めていなかったが、高齢化が進む中、質の高い介護に対するニーズが増大していることを背景に、入国管理法の改正により新在留資格「介護」が創設された。聖マリアグループとしての外国人介護人材の受け入れに協力する。

３）海外からの来訪者との国際交流活動の推進および広報活動の充実

（１）JICA 課題別研修コース研修員・個別研修員との国際交流活動の推進

さまざまな開発途上国から来日する研修員との交流を積極的に推進し、聖マリアグループ職員の異文化理解の促進を目指し、国際協力活動へ興味を持つ職員の発掘を行う。そのために、研修員との交流の場の設定や研修員の生活等を支援するボランティアの組織づくりを行う。

（２）韓国カトリック医療協会等との連携による国際交流活動の強化

国際交流活動と国際協力活動とは分けて考える必要があるが、国際交流活動に対しても国際事業部は必要な支援を行う。ただし、国際交流活動の業務担当や責任体制を明確にするとともに、関係者間の連携を緊密にすることが重要である。

（３）地域国際交流団体との連携による交流活動

久留米市商工観光労働部観光・国際課、久留米観光コンベンション国際交流協会、久留米日本中国友好協会、久留米日米協会などの国際交流活動へ参加する。

（４）グループ内職員へ向けての広報活動

国際協力ニュースの発行、デジタルサイネージによる最新情報の提供、帰国報告会等の開催などの活動を通じてグループ職員への広報活動を継続する。

（５）グループ外部へ向けての広報活動

ホームページによる情報発信、地域住民への講演会等の開催、地域連携推進室との協力による地元医師会への広報、報道機関を利用した広報活動、各種国際交流事業への参加などの活動を通じてグループ外部への広報活動を実施する。

４）国際協力に関する研究活動の充実

（１）国際協力研究

プロジェクト活動における operational research、内外の国際協力に関連する委託研究を行い、活動成果を学会発表、紙上発表、セミナー、講演会などを通じて報告する。また、国際協力に関

する研究を支援する。

（２）活動実績の蓄積

過去の報告書や業績・成果を中心とした資料を整備し、同時に国際協力活動の実施に必要な資料やデータを収集・整備する。また、蓄積された情報を要求に応じて提供する。

（３）活動実績を踏まえての各種マニュアルの整備

これまでの活動経験（海外協力活動、研修員受け入れ活動など）を集約し、海外での協力活動マニュアルや研修受入マニュアルを作成し、今後の活動やこれから国際保健分野での活動を希望する人たちに対する人材育成に活用する。

第 2 章　　業務報告

第 2 章　業務報告

第 1 節　専門家派遣

専門家の派遣は長期派遣と短期派遣に分けられる。長期派遣は、ラオス事務所及びマラウイ事務所の駐在員として、それぞれ 2 名ずつ派遣されている。短期派遣は、マラウイプロジェクトへの派遣であった。令和 3 年度の派遣状況は次のとおり。

１）長期派遣

派遣国	氏名	担当業務	派遣期間
マラウイ	山本作真	サブプロジェクトマネージャー	2021/4/23～2021/5/30、 2021/7/14～2021/10/17、 2021/11/19～2021/12/4
	浜中咲子	業務調整員	2021/4/23～2021/5/30、 2021/7/14～2021/12/4
ラオス	石塚貴章	プロジェクトマネージャー	2021/5/28～
	安東久雄	業務調整員	2021/5/28～

２）短期派遣

期間	実施主体	派遣目的	業務内容	派遣先	氏名	職種
5/5～5/14	JICA	母と子の最初の「１０００日」に配慮したコミュニティー栄養改善プロジェクト	プロジェクト運営管理総括及びエンドライン調査のための調査員指導	マラウイ	浦部大策	医師
8/4～8/22			エンドラインサーベイ実施指導及びデータ管理指導		足立　基	医師
11/19～12/4			プロジェクト運営終了報告会の実施		浦部大策	医師

JICA：国際協力機構

第 2 節　研修員受け入れ

令和 3 年度の JICA 課題別研修コースは、「病院経営(A)」「病院経営(B)」「病院経営(C)」「病院経営(D)」が実施された。「病院経営（A)」は令和 3 年 11 月 22 日から 12 月 15 日まで、「病院経営（B)」は令和 3 年 12 月 20 日から令和 4 年 1 月 26 日まで、「病院経営（C)」は令和 4 年 1 月 31 日から 2 月 24 日まで、「病院経営(D)」令和 4 年 2 月 28 日～3 月 23 日まで行われた。課題別以外の JICA 研修は 1 回、その他の個別研修は 1 回実施された。研修員の総数は、JICA 研修が 29 名、個別研修が 4 名の計 33 名であった。いずれも来日は叶わず、すべてオンラインでの実施となった。研修の概要は以下の表に示すとおりである。

1）JICA 研修

期間	研修コース	形態	人員	研修員の国籍	研修分野	受入先
2021/10/17 ～10/28	生活習慣病予防	青年	5	ヨルダン	生活習慣病予防	国際事業部
11/22～12/15	病院経営(A)	課題別	2 1 1 1	カンボジア ウガンダ タジキスタン パキスタン	病院経営	国際事業部
12/20～ 2022/1/26	病院経営(B)	課題別	2 2 2 1	エジプト パレスチナ ザンビア ヨルダン	病院経営	国際事業部
1/31～2/24	病院経営(C)	課題別	1 2 2 1 1	インドネシア モンゴル パプアニューギニア メキシコ ドミニカ共和国	病院経営	国際事業部
2/28～3/23	病院経営(D)	課題別	1 1 1 2	ガボン シエラレオネ チュニジア 北マケドニア	病院経営	国際事業部

２）個別研修

期間	形態	受入機関	人員	研修員の国籍	研修分野	受入先
2021/11/1～12/31	個別	アイルランガ大学病院	4	インドネシア	血液透析	臨床工学室 国際事業部

第 3 節　緊急災害医療

国内外で発生する地震やその他による大規模緊急災害に対して保健医療の立場からも支援の必要性がある。聖マリア病院では、これらの事態に対応するために、次のような活動をおこなった。

１．JICA 国際緊急援助隊（JDR）

１）医療チーム研修受講
令和 3 年度中級研修に 2 名参加（2021 年 10 月 9 日、10 日　オンライン開催）

２）救助チーム医療班研修受講
令和 3 年度総合訓練に 1 名参加（2021 年 10 月 31 日～11 月 4 日、兵庫県）

３）JDR 院内登録者数 9 名（2022 年 3 月 31 日現在）

第 4 節　韓国との交流

１．韓国カトリック医療協会（Catholic Health Association of Korea：CHAK）との交流

聖マリア病院では、1988 年 10 月 27 日、「韓国カトリック病院協会」との間に、カトリックの理念に基づく日韓医療技術協力協定を締結した。韓国カトリック病院協会は、1967 年に設立され、その後、2005 年に「カトリック病院協会」と「カトリック医師協会」と「カトリック看護師協会」、また「カトリック薬剤師会」などが合併して「韓国カトリック医療協会」が組織され、当院との協定は、同協会に継承された。

現在は、各教区または修道会が運営している 38 カ所の医療施設、信者が運営する 1 カ所の個人病院の計 39 の医療施設から構成されている。

２．カトリック中央医療院（Catholic Medical Center：CMC）との交流

カトリック中央医療院は、学校法人カトリック学院のカトリック大学校（医科大学、看護大学）付属 8 病院（ソウル聖母病院、汝矣島聖母病院、議政府聖母病院、富川聖母病院、恩平聖母病院、仁川聖母病院、聖ビンセント病院、大田聖母病院）により組織されている。2010 年 8 月には、相互の人的な交流を通じ、カトリック理念に基づいた医療関連技術向上及び病院経営管理を目的とした交流協定を締結した。また、九州大学、久留米大学医学部の各教室を交えた交流も開始された。

３．その他の交流

聖マリア学院大学とカトリック大学校看護大学（韓国・ソウル）、釜山カトリック大学校との交流が盛んに行われる中、聖マリア病院においては、2010 年 4 月、釜山カトリック大学校との間に、カトリック理念に基づく相互の交流を促進し、両機関の学術、教育の発展、相互の友好関係を促進することを目的とした協定を締結した。2014 年 11 月には、同年 10 月に新設した聖マリアヘルスケアセンターと、リハビリテーション部門での同様の協定を締結している。

第 5 節　NPO 法人 ISAPH

2021 年度は、新型コロナウイルス感染症の状況に変化が見られ、ラオス・マラウイの国際協力事業、国内に向けた教育・研修事業は、予定よりも活発に展開することができた。

マラウイの JICA 草の根技術協力事業では、4 月に再派遣した職員がトラブルにより一時帰国を余儀なくされるものの、計画通りに事業終了時調査を実施し、期間延長等もなく、同年 12 月に 3 年 6 ヵ月に亘る事業を終了した。終了時調査から、事業実施前より母子がより多種類の食品を食べるように変化しており、事業対象外の地域と比べて 5 歳未満児の発育阻害が有意に低下したことが示された。新型コロナウイルス感染症の影響下にありながらも、計画通りに事業を進行させ、成功裏に終了することができたことに、多くのパートナーからお褒めの声をいただいている。成功の要因の一つとして、マラウイ人職員の自立が大きいという声がチームから上がった。開発援助とはいえ、他国で事業をすることは容易なく、邦人職員だけで事業が成り立つわけでもない。これまで聖マリア病院と連携して育てた人材が基盤となり、本事業を成功に導いたと言える。しかし、栄養不良に苦しむ子どもたちは、マラウイ全土におよぶ。今後の課題は、本成果をどのように他の地域や、既存の保健サービスに含めていくかである。

ラオスでは、母と子の命を守る母子保健サービスへのアクセス改善、母子の栄養改善のための食用昆虫養殖事業、リボリビングファンド事業が進行中である。これらの事業はすべて、母と子が命の危険に晒されないように、妊娠から出産、そして育児期間に可能な限り健やかに過ごせることを目指している。1 年 6 ヵ月に亘る活動によって、母親らの行動に変化がみられた。しかし「分かっているけど行動に移すことができない」人々もおり、事業後半は、そのような家庭に集中して支援を実施する。そのためには、本邦における聖マリア病院の地域看護の経験なども参考にできるのではないだろうか。聖マリアグループ全体でラオスの開発援助に取り組む仕組むことができないか模索していきたい。

国内の教育・研修事業も新たな展開を迎えた。9 月、オンラインによるスタディツアーを初めて実施した。画面越しであるものの、現地の様子やラオス人とのやり取りを通して、「行きたいという気持ちが強くなった」と参加した学生は感想を残している。国際協力に気軽に触れ、世界の健康問題を体験し、考える機会を、大学生に留まらず、子どもや大人にも提供できるように発展させていきたい。

2022 年度は、いよいよポストコロナ時代が始まると考えられる。この 2 年間は、必ずしも抑制だけではなかった。オンラインの活用、現地職員の自立、国内の保健課題ニーズへの気づきなど、ISAPH が世界の健康にどのように寄与できるかの示唆を得る機会となった。引き続き、多くの個人・団体とパートナーシップを結び、社会にとって価値ある組織となることを目指して取り組んでいく。

（ISAPH 東京事務所）

第 6 節　経理

令和 3 年度の聖マリア病院国際事業部の国際協力に係る収支状況は下記の表に示す通りである。減価償却費が発生しているが、海外研修員の宿泊施設（12 室）を定率法により算出したものである。

収入の部	
科目	金額
JICA 病院経営（A）コース研修委託費	3,573,126
JICA 病院経営（B・C・D）コース研修委託費	5,719,419
JICA ヨルダン生活習慣病対策コース研修委託費	1,790,460
医療技術等国際展開推進事業委託費	5,448,939
JICA マラウイ草の根技術協力プロジェクト	14,754,000
その他	10,000,000
合計	41,285,944

支出の部	
科目	金額
JICA 病院経営（A）コース研修委託費	809,191
JICA 病院経営（B・C・D）コース研修委託費	1,405,676
JICA ヨルダン生活習慣病対策コース研修委託費	313,555
医療技術等国際展開推進事業費	4,012,212
ラオス母子保健プロジェクト	4,618,568
マラウイ母子保健プロジェクト	15,992,117
直接人件費（国際協力担当）	66,513,000
減価償却費	1,376,238
その他	12,417,339
合計	107,457,896

差額	△66,171,952

第 3 章　　活動報告

第 3 章　活動報告

１．個別技術協力

１）　インドネシア　アイルランガ大学病院

2021 年度年報「インドネシアにおける医療機器管理体制の構築」報告

臨床工学室　小野 信行

令和 3 年度 NCGM 医療技術等国際展開推進事業の研修実施機関として、国際事業部と協働で実施している「インドネシアにおける医療機器管理体制の構築」について報告する。

本事業のカウンターパートである国立アイルランガ大学（ア大学病院）は、インドネシア大学に次ぐ国立大学で医学部、薬学部、看護学部など 13 学部で構成されている。そのア大学病院長と聖マリア病院長との間で、2017 年 4 月に職員教育や研修による病院の質の向上を目指すことを目的とした交流協定覚書が締結された。それから 2018 年度から 2020 年度に本事業の支援を得て実施した 4 人の透析エンジニアに対する研修成果が高く評価されて、本事業を継続することを熱望されたため、2021 年度より 4 名の透析エンジニアがこれまでの 3 年間で修得した技術や知識を、地域の透析機関へ拡大する活動を開始することを目標として実施することになった。

インドネシアにおける COVID-19 の 1 日当たり感染者数は、2021 年 7 月をピークに急激に下がり始め、12 月末には 100 人台になったため、オンライン研修の準備を 4 名のエンジニアと共に実施できることになり、当初予定していたエンジニアを指導者として育成することに繋げることができた。2021 年 11-12 月に実施した透析液清浄化オンデマンド Web 研修では、透析液清浄化を実現するために求められる透析エンジニアの役割や、持つべき知識および技術について、テキストおよび動画などを用いて受講するカリキュラムを企画した。本研修を受講することにより、透析治療の場面において医師・透析看護師と共にチームの一員として、透析患者の予後の改善と治療成績の向上に貢献することを目的とし、インドネシアの広範囲の施設から 161 名が受講した。また、12 月には 2 日間の Live セミナーを、ア大学病院エンジニアスタッフと、聖マリア病院側の配信センターとの共同運用で開催した。

これまでの 3 年間の活動によりコアターゲットとなる 4 名のエンジニアは、透析治療の知識ならびに技術が格段に向上し、当該病院の透析液清浄化が臨床面でも改善に寄与している。インドネシアは多くの島で成り立っている国であり、オンライン研修を併用することで、都市部に偏らない人材の育成が可能になることが証明された。本事業では、ア大学とともに、「将来的には病院内の医療機器全般を対象とするセンターに発展させ、日本の臨床工学技士のような役割を担うエンジニアの養成施設とし、東ジャワ地域の医療の質の向上に貢献する。」ことを目指している。COVID-19 の関係で今年度は実施できなかった医療機器管理体制整備を目指した研修をア大学で集合あるいは遠隔で実施し、ア大学病院エンジニアから拡がり始めたエンジニア育成の輪

を通して、インドネシア全体の医療の質向上に貢献できるような活動を今後も継続していきたい。

２．JICA 研修員受け入れ

１）　課題別研修「病院経営」

2021 年度 JICA 課題別研修「病院経営」コース

国際事業部　緒方美樹

１．研修概要

平成 7 年度から実施している当コースは、COVID-19 の影響により、2020 年度実施予定であった 2 コースが延期となった。本年度も引き続き来日は叶わなかったが、2020 年度延期分の 2 コースと合わせて計 4 コースを初の遠隔形式にて実施した。

研修名	病院経営(A)	病院経営(B)	病院経営(C)	病院経営(D)
技術研修期間	11 月 22 日～ 12 月 15 日	12 月 20 日～ 1 月 26 日 (12/22-1/4 休暇)	1 月 31 日～ 2 月 24 日	2 月 28 日～ 3 月 23 日
研修員数	5 名	7 名	7 名	5 名
参加国	カンボジア、ウガンダ、タジキスタン、パキスタン	エジプト、パレスチナ、ザンビア、ヨルダン	インドネシア、モンゴル、パプアニューギニア、メキシコ、ドミニカ共和国	ガボン、シエラレオネ、チュニジア、北マケドニア

２．案件目標：

病院経営の担当者に対する効率的な病院経営のノウハウの提供を通じて、参加者が各病院にて効率的・効果的な病院運営を行えるようになる。

３．研修内容・評価：

初日のオリエンテーション、アクションプラン作成のための PCM ワークショップ（6 日間）、アクションプラン発表会、最終日の評価会・閉講式については、Zoom を利用したライブ形式で行った。また、講義動画を作成しオンデマンド形式で配信し、視聴後は受講レポートを提出してもらった。

初めての遠隔形式の研修で課題も多く出た。一部の研修員のインターネットの接続不良、低い PC 性能による不具合などに加え、PC 操作が不慣れであったり、やむを得ない事情によりライブ研修途中で退席したり遅刻参加したりする研修員もいた。日常から離れて研修に集中できる来日研修と異なり、日常業務の合間に受講する遠隔研修では研修員の受講環境を整えることは容易ではなかった。このような制限もあったが、研修員が作成したアクションプランの一部は、来日

研修時にも引けを取らない完成度の高いものとなった。次年度は今年度の経験と反省を活かして、より円滑に研修が実施できるようにしたい。

２）　ヨルダン青年研修

JICA 青年研修「ヨルダン生活習慣病予防」コース

国際事業部　鈴木牧子

2021 年 10 月 17 日～28 日、JICA 青年研修オンライン「ヨルダン生活習慣病予防コース」を実施した。参加者 5 名全員が保健省プライマリヘルスケア管理局所属の医師であった。世界の潮流にもれずヨルダンにおいても、国民の最大死因は生活習慣病であり、全死亡数の 78 %を占める。主なものは心血管疾患、がん、糖尿病、慢性呼吸器疾患であり、関連する危険因子として、喫煙、肥満、不健康な食生活、そして運動不足が挙げられている（Jordan National STEPwise Survey (STEPs) of non-communicable diseases and their risk factors 2019)。また WHO によれば、ヨルダンが位置する東地中海地域は、世界で最も運動不足が深刻な地域だという。生活習慣病は Covid-19 の重症化を招きやすいことから、ヨルダンでもその対策が重要視されており、そのような状況で働く研修員は、本研修の目標「日本の生活習慣病における制度や実施体制を学び、自国の体制と比較し、研修員がこれから取り組むべき課題を理解する」にとてもマッチしていた。しかし今年度は従前の対面式ではなく遠隔研修であり、どの程度研修効果を得られるか不安があるなかでの実施となった。講義・視察はビデオオンデマンドの視聴、オリエンテーション・ワークショップ・発表会・閉講式はライブで実施した。その際は、5 人全員が首都アンマンの JICA 事務所から参加した。設定の問題等で多少のトラブルはあったが、全員が一か所に集まり受講することで、研修員の参加意識が高まり、参加者同士のネットワークが形成できたようだった。JICA 事務所の職員の協力に感謝である。ワークショップについては、講師・研修監理員を含め関係者全員が、遠隔による参加型ワークショップ実施は初めてであったため、研修員・講師・研修監理員の負担を最小限に抑えるにはどうすればよいか検討に検討を重ね、無事に終了できた。一日 6 時間×2 日間というハードな日程であったが、研修員は終始熱意と集中力をもって研修に参加してくれた。研修員による評価は高く、研修終了時の JICA アンケートによると、5 人全員がコース目標を十分達成できたと回答した。また、討議やワークショップに参加する機会はありましたか？という設問に対し、5 人中 4 人が十分あった、1 人があった、と回答してくれた。忍耐力をもってご指導いただいた講師、そして通訳を務められた研修監理員の協力に深く感謝している。今回の研修で学んだことが、ヨルダンの生活習慣病対策立案・実施の参考になればこれ以上喜ばしいことはない。研修員の健闘を祈っている。

３．韓国との交流

１）韓国カトリック医療協会（CHAK）との交流

（１）CHAK 機関誌「Health & Mission」への寄稿

2021 年春号「医療崩壊」著：井手義雄（聖マリア病院理事長）

2021 年夏号「私共は法人設立の原点に立ち戻ります！」著：井手義雄（聖マリア病院理事長）

2021 年秋号「地域共生」著：井手義雄（聖マリア病院理事長）

2021 年冬号「新型コロナウイルスが日本の病院経営に与えた影響」著：井手義雄（聖マリア病院理事長）

３．NPO 法人　ISAPH

１）　ラオス　母子保健プロジェクト

食用昆虫養殖普及事業への拡大するニーズと活動継続の動機付け

ISAPH ラオス事務所　石塚貴章

ISAPH ラオス事務所では、JICA の支援を受け「農村部住民の食糧事情向上を目指した昆虫養殖技術普及事業」を実施している。対象村が抱えている発育阻害（低身長）に対し、食の多様性を確保することで改善を目指すことが目的にある。現地政府からは早期の支援世帯拡大及び対象地域の追加の提案が会議であがるほど本事業に対する期待と注目は高い。事業の優先課題として、養殖昆虫の 1 つであるヤシオオオサゾウムシを育てるために必要なキャッサバの芋の入手数量が限られていることから、支援世帯の拡大のためには自家栽培等の対策が必要だった。しかし、中国やベトナム等への輸出需要の高まりから国内生産量が増加し、入手が容易となりボトルネックは解消された。また、国内の物価上昇に伴い収入向上の手立てとして見るものもおり、本事業への参加希望者が増えている。支援環境・住民需要ともに事業達成の追い風になった。

2021 年度は 16 世帯の住民へ支援をした。新型コロナを原因とした往来規制（ロックダウン）等により直接支援が途絶えることがあったものの、どの世帯も養殖を継続した。住民へ養殖継続のモチベーションを尋ねたところ、「子どもが美味しく食べるから」であった。子どもの喜ぶ姿が活動継続のカギとなっていることがわかる。本事業の目的はあくまで住民の食糧事情改善にあるため自家消費とともに、販売収益により他食品へアクセスすることが望ましい。ただし、得られた現金収入がスナックやビールなどの栄養に関係ないものへ消費される危険性もあるため、本事業の目的から逸れないよう栄養教育も併せて実施をする必要がある。サイブートン郡保健局及び農林局からは、市場開拓の未経験や市場アクセスの困難性などの理由から、住民自身で収益に繋ぐことは難しいとの意見も聞かれた。現に、現金収入へ転換出来ている住民は、多くが商店を営んでおり販路があるものである。今後は、養殖世帯の更なる普及拡大とともに、現金化へのサポートの課題が見えてきた。

２）　マラウイ　JICA 草の根技術協力事業

JICA 草の根「『最初の 1000 日』栄養改善プロジェクト」の終了と成果について

ISAPH マラウイ事務所／国際事業部　山本作真

JICA 草の根技術協力「母と子の『最初の 1000 日』に配慮したコミュニティー栄養改善プロジェクト」を実施していたマラウイ事務所配属の日本人職員 2 名は、2019 年度末以来、新型コロナウイルスの世界的流行により本邦へ退避し、遠隔で活動を継続していた。2021 年 4 月、再渡航が実現し、現地雇用職員によって継続していた活動に現地復帰を果たした。

直後の 5 月初旬、不法滞在外国人取締キャンペーンを行っていた現地当局により、上記職員 2 名が誤認逮捕される事態が発生した。約半日身柄を拘束された後、連絡の取れた JICA マラウイ事務所所長が現地へ駆けつけ、当局との交渉の後に開放される。職員は正式な在留資格を有していたが、誤解のない資格を JICA 側が改めて現地政府機関へ照会、新たに技術指導ビザを取得した。この影響で両職員は 5 月下旬に一時帰国し、7 月中旬に再び現地業務に復帰した。

8～9 月、聖マリア病院より派遣された足立医師、現地ムズズ大学看護学部講師らの指導の下、3 年半に渡るプロジェクトのエンドライン調査を実施した。その結果、開始時と比較して 5 歳未満児および妊婦・母親の食の多様性が有意に向上し、当初のプロジェクト目標を上回る成果となった。更に、上位目標であった 5 歳未満児の低身長率は、国平均と同水準であった 37.5%から 25.0%へ減少した。

11 月、首都リロングウェにて浦部部長以下 ISAPH マラウイ事務所全職員が出席し、終了時報告会を開催した。現地保健省、JICA マラウイ、UNDP、UNFPA らの代表が出席し、活動の成果を報告・共有した。

12 月、日本人職員が帰国し、2018 年 5 月から続いたプロジェクトが終了を迎えた。邦人退避という状況下においても、本邦で動画などの教材を作成して現地へ送信し指導を行う等の IT 活用、現地職員への業務譲渡・遠隔マネジメント等により活動を継続し、最終的に数値化された成果を挙げた本事業は、JICA マラウイ事務所・日本大使館からは高い評価を受けた。

ウムントゥ精神とマラウイ

国際事業部　足立　基

昨年 8 月、JICA 草の根技術協力『最初の 1000 日に配慮した栄養改善プロジェクト』終了時評価のため 3 回目のマラウイ出張を行った。食材調査の性格上、3 年前に実施したベースライン調査と同じ季節に実施することが必要であったため、COVID-19 の流行が収束する前の出張となった。コロナ禍で便数も減少しており、往路はドバイ、ケニア経由、トランジットでほぼ 2 日かけての渡航となった。マラウイのコロナ感染は、予想外に少なく、街中ではマスクをしてい

る人が大半だったが、村に行くとしている人の方が少ない状況であった。インフラが整っていないアフリカ大陸でコロナの犠牲者が予想を大幅に下回り、その原因の科学的な裏付けはないのは、イエスキリスト（聖マリア様）のご加護としか思えない。

プロジェクトに目を戻すと、やはりコロナ禍で ISAPH 邦人スタッフ（現当職員）が帰国せざるを得ない状況下で、現地スタッフと SNS で連絡を取りながら、農業指導、栄養教育（クッキングデモンストレーション）を続けてきた。嬉しいことに 3 年間の活動の結果、0 から 5 歳までの子どもたちの年齢に対する低身長（stunting）は、プロジェクト開始前と比較し有意に改善していた。ニンジン、ニンニクなどの農作物の栽培とその利用方法を総合的に介入してきたが、期待したほどニンジンが食べられていなかったという問題はあるものの、外部から栄養補助食を導入するのではなく、現地で栽培している食材を利用して、マラウイの人々の手で子どもの栄養改善を図ることができたことが、今回のプロジェクトの成果であった。

最後に、アフリカの「ウムントゥ」の精神について触れたい。フィールド調査のある昼休み、ISAPH スタッフに屋台の焼き肉を振舞おうと大人数を注文したところ、村の男たちが「オレたちにもよこせ」との剣幕で、場が騒然となりかけた。その場を救ってくれたのは共同研究者として同行していたムズズ助産・公衆衛生大学の先生たちで、そのゴロツキにも彼らの自腹で食べ物をふるまってくれた。彼らはその精神をウムントゥ（自分たちだけでなく、恵みを周囲の人と共有すること）と教えてくれた。アフリカの共助の考えが浸透していることを強く認識するとともに、我が身を振り返り、反省させられた。

プロジェクト終了時報告会

国際事業部　浦部大策

2021 年 12 月 28 日、JICA 草の根資金を得てマラウィ・ムジンバ県で実施していた、子どもの栄養障害改善を目標にした三年半のプロジェクトが終了した。終了に先行して、2021 年 11 月 23 日、首都リロンゲでプロジェクト報告会を実施した。招待したのは、JICA、日本大使館、マラウイ保健省、ムジンバ保健局など、総勢 50 名程度であった。

今回のプロジェクトでは、子どもの栄養障害の原因が生活圏レベルで住民の『食の安全』が確立していない事にあるという考えで活動論理を構築した。食の安全保障は、Availability, Accessibility, Utilization からなるが、これらの課題を一つ一つ解決すべく計画を立て、地元の多様な食材を確実に摂取させる事を狙った。我々は、子どもの栄養障害は地元で改善が可能であるという事を示したが、この成果は、栄養改善という健康の基本を改善する活動である事、多くのアフリカ諸国が類似の問題を抱えている事、栄養改善が国連の SDGs にも取り上げられているテーマである事、などの理由で、マラウイ保健省や日本大使館、JICA、UNDP や UNFPA など多方面から興味が示された。今後は、この成果を国全体に規模を広げる事が必要だが、一病院の活動としては手に余るような規模の活動になりそうで、これからどう展開するのが良いか検討したい。

４．学校法人　聖マリア学院大学

JICA 青年研修「アフリカ・ハイチ（仏語）母子保健実施管理（遠隔研修）」

聖マリア学院大学　地域・国際連携センター国際連携部門　秦野　環

聖マリア学院大学は、2022 年 1 月 11 日から 1 月 26 日まで JICA 青年研修「アフリカ・ハイチ（仏語）母子保健実施管理（遠隔研修）」を実施した。本研修は、2020 年度に実施される予定であったが、COVID-19 パンデミックにより延期となり、2021 年度に遠隔研修として実施した。参加した研修員は、アフリカ仏語圏諸国から 9 名（ベナン 2 名、ブルキナファソ 1 名、ブルンジ 1 名、コートジボアール 2 名、マダガスカル 1 名、セネガル 2 名）であった。研修の目標は、「日本の母子保健における制度や実施体制を中心とした基本的知識を学び、当該分野に係る日本の経験、社会背景を理解し、研修員が自国において取り組むべき課題認識を深める。」であり、研修に参加し学び得た知見を自身の職場において実践し、ひいては、「将来のリーダーとして母子保健分野における実施体制の課題解決を担う存在になること」が期待されているものである。全ての講義は、事前に録画したものを JICA 指定の JICA-VAN に格納し、加えてアクセス困難な研修員のために YouTube として配信し、受講していただく形をとった。講義は、まず「チームビルディング手法を用いた問題分析」を 2 日間かけて実施した。当該講義は、例年、研修員に非常に好評な講義ではあるが、演習を多く含んでの実施であったことから、動画による講義だけでは理解困難な部分が発生することも予測されたために、事前に、2017 年度・2018 年度の同研修修了生に、彼女たちが実践した内容と、日々心掛けるべきアドバイスをフランス語で動画を作成し、研修員に視聴していただいた。これにより、「チームビルディング手法とは何か？」ということ、研修修了要件であるアクションプランの作成に関し、より理解が深まったものと考える。

研修の主たる学修テーマの母子保健に関しては、日本の母子保健施策を理解してもらうために、「日本の医療行政、母子保健施策について（聖マリア学院大学）」、「久留米市の母子保健施策（久留米市）」、ジェンダー平等に関し「久留米市の男女共同参画（久留米市）」などを講義で学修し、母子保健活動の実際を学ぶ施設見学として、事前の施設内動画撮影を用いて、「地域の総合周産期母子医療センターの役割（聖マリア病院）」と、「日本の助産院（助産院 mamita）」について視聴し学修する機会とした。研修員が作成したアクションプランに対しては、スーパーバイザーとコースマネージャーが行う評価を動画撮影し、研修員が視聴できるようにした。研修評価アンケートからは、遠隔研修ではあったが、概ね良い評価がされていた。これは、研修管理業務の経験が豊富で、加えて、すでに遠隔研修での研修監理業務のご経験を持つ研修監理員に適切なご対応、ご助言を頂き、研修コース全体の質の向上に寄与いただいたことを申し添えておきたい。

本コースは、聖マリア学院大学にとって初めての遠隔研修となったが、参加者全員の日々の業務に加えての熱心な研修参加により、本来の目的を達成することができたと考える。

付　属　資　料

資料１．2021年度の業績

学会発表

発表者 および 共同演者	演題名	学会名・年月日・場所
浦部　大策 足立　基	マラウィ・ムジンバにおける子供の栄養障害と食の安全保障	第124回日本小児科学会学術集会 2021.4.16～2021.4.18、京都市
浦部　大策 足立　基 磯　東一郎*	マラウィ・ムジンバにおける住民の食習慣と食環境改善の取り組み A challenge to change food habits and Food Security in Mjimba,Malawil	第71回日本病院学会 2021.6.10～2021.6.11、オンライン
浦部　大策	マラウィにおける子供の食の安全保障確立への取り組み	第68回日本小児保健協会学術集会 2021.6.18～2021.6.20、オンライン
ジェンキンズ　ガレス	外国人患者が安心して受診できるための体制整備～日本人と同様の医療提供を目指して～	第71回日本病院学会 2021.6.25～2021.7.30、オンライン
鈴木　牧子	JICA課題別研修帰国後の研修成果活用からみる5Sの研修プログラムへの包摂の妥当性	第71回日本病院学会 2021.6.25～2021.7.30、オンライン
佐藤　優 安東　久雄	ラオス国カムアン県サイブートン郡の農村部における母親の母子保健サービス利用促進にかかる戦略への示唆	第29回日本健康教育学会学術大会 2021.9.11～2021.9.12、青森市
浜中　咲子 山本　作真 佐藤　優 足立　基 浦部　大策	東京―マラウイ農村間の遠隔で新規レシピを導入するための工夫	第5回国際小児保健学会学術集会 2021.10.2、オンライン
安東　久雄 佐藤　優 石塚　貴章 足立　基 浦部　大策	ラオス農村部における妊婦の分娩場所の決定に関わる要因分析～3つの遅延と社会生態学モデルを用いて～	第36回国際保健医療学会学術集会 2021.11.27～2021.11.28、オンライン
足立　基 佐藤　優 山本　作真 浜中　咲子 浦部　大策	マラウイ農村部における食の安全保障改善の試みと子どもの低身長改善	第36回国際保健医療学会学術集会 2021.11.27～2021.11.28、オンライン
浦部　大策 佐藤　優	マラウィ・ムジンバにおける住民の食習慣と食環境	第80回日本公衆衛生学会総会 2021.12.21～2021.12.23、新宿区
佐藤　優 Daisaku Urabe Motoi Adachi	ラオス国カムアン県サイブートン郡における6～59カ月児の食事調査から得られた食の多様性とその課題	第80回日本公衆衛生学会総会 2021.12.21～2021.12.23、新宿区
安東　久雄 佐藤　優 石塚　貴章 足立　基 浦部　大策	ラオス農村部における妊婦の分娩場所の決定に関わる要因分析～3つの遅延と社会生態学モデルを用いて～	第71回聖マリア医学会学術集会 2021.12.23、久留米市
石塚　貴章 佐伯　真二郎* 佐藤　優 安東　久雄 足立　基 浦部　大策	ラオス農村部の栄養改善に向けた食用昆虫の利用可能性（フィールド活動報告）	第71回聖マリア医学会学術集会 2021.12.23、久留米市
足立　基 浜中　咲子 山本　作真 佐藤　優 浦部　大策	マラウイ最初の1000日に配慮した栄養改善プロジェクトの3年間	第71回聖マリア医学会学術集会 2021.12.23、久留米市
足立　基 谷口　清州* 堀　浩樹*	ガーナ共和国での公衆衛生学的脅威に備えるサーベイランス強化とSatreps学術プロジェクトの連携	日本国際保健医療学会第40回西日本地方会 2022.3.5、オンライン

*他組織所属者

講演

発表者 および 共同演者	演題名	講演会・年月日・場所
杉本　孝生	国際看護学	令和3年度非常勤講師 依頼元：久留米医師会看護専門学校 2021.4.1～2022.3.31、久留米市

資料2.　専門家派遣状況

2022年3月31日現在

	国　名	年	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	合計
1	エジプト	医　師				2																																			2
	カイロ大学小児病院	看護師	3									1																													4
		その他					1	1	1	1		1	1																												6
2	パキスタン	医　師		2	1	3																																			6
	イスラマバード小児病院	看護師		2	1	4	5	6	5	4	4																														31
		その他		1		2	1																																		4
3	パキスタン	医　師							1		1																														2
	看護大学（看護教育）	看護師			3	2	2	1	1																																9
		その他																																							
4	中華人民共和国	医　師					1	5	1																																7
	中日友好病院	看護師					1	2	2	2	2																														9
		その他																																							
5	ドミニカ共和国	医　師																																							
	消化器疾患診療センター	看護師																																							
		その他						1	1	1	1		1	1	1																										7
6	ホンジュラス	医　師						1	1				1	1			1																								5
	テグシカルパ准看護学校	看護師							2	1							1																								4
	（看護教育強化）	その他																																							
7	ボリビア	医　師																																							
	サンタクルス総合病院	看護師																																							
		その他						1	1	3	2																														7
8	フィリピン	医　師																																							
	労働安全衛生センター	看護師																																							
		その他						2																																	2
9	中華人民共和国	医　師							3	1	1	2																													7
	ポリオ根絶計画	看護師																																							
		その他																																							
10	スーダン	医　師																																							
	ハルツーム教育病院	看護師																																							
		その他							1																																1
11	インドネシア	医　師									2	1	4	2	4	3	4	3	1																						24
	ストモ病院救急医療	看護師											3	3	5	5	8	7	2																						33
		その他									1		7	6	7	2	2	2																							27
12	ネパール	医　師																																							
	医学教育	看護師																																							
		その他									2	1	2	1	1																										7
13	マラウイ	医　師											1	1	1	1	2	2	1																						9
	公衆衛生	看護師																	1																						1
		その他												1	1			2	1																						5
14	ケニア	医　師																																							
	医療訓練学校改善計画	看護師											1																												1
		その他											1																												1
15	韓国	医　師																																							
	老人保健医療センタープロジェクト	看護師												1																											1
		その他																																							
16	インドネシア	医　師												1	1	1																									3
	母子保健	看護師																																							
		その他												1	1	1																									3
17	ボリビア	医　師																																							
	サンタクルス医療供給システム	看護師																																							
		その他													2	1	2	2																							7
18	メキシコ	医　師																																							
	家族計画母子保健	看護師													1	1																									2
		その他																																							
19	カンボジア	医　師																																							
	母子保健	看護師																																							
		その他													1		1	1																							3
20	バングラデシュ	医　師														1																									1
	リウマチ熱リウマチ性心疾患パイロット	看護師																																							
		その他																																							

2022年3月31日現在

	国　名	年	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	合計
21	ケニア	医　師														1																									1
	地域保健医療システム強化計画調査	看護師																																							
		その他														1																									1
22	ザンビア	医　師														1	1	1	1																						4
	プライマリ・ヘルスケアプロジェクト	看護師																																							
		その他																																							
23	ブラジル	医　師														1																									1
	公衆衛生	看護師																																							
		その他																																							
24	ブルガリア、ポーランド	医　師															1																								1
	心臓病診断、関連機器保守管理（単発）	看護師																																							
		その他															1																								1
25	朝鮮民主主義人民共和国	医　師															1																								1
	カリタスジャパン	看護師																																							
	朝鮮民主主義人民共和国医療施設訪問	その他																																							
26	マラウイ	医　師															6	9																							15
	プライマリヘルスケア強化計画調査	看護師															2	2																							4
		その他															3	4																							7
27	ラオス	医　師																1	2																						3
	小児感染症予防プロジェクト	看護師																																							
		その他																																							
28	タイ	医　師																1	1	1	3																				6
	外傷センタープロジェクト	看護師																	1			1	1																		3
		その他																	1	1																					2
29	ネパール	医　師																	1	1																					2
	地域小児医療プロジェクト	看護師																																							
		その他																		1																					1
30	スワジランド	医　師																																							
	労働安全衛生センター	看護師																																							
		その他																	1	1																					2
31	ドミニカ共和国	医　師																																							
	医学教育プロジェクト	看護師																																							
		その他																	1	1	1	1																			4
32	ベトナム	医　師																																							
	バックマイ病院	看護師																																							
		その他																	1	1																					2
33	マラウイ	医　師																	4	1																					5
	厚生労働省委託研究	看護師																	1		1																				2
		その他																		1																					1
34	カンボジア	医　師																																							
	母子保健２	看護師																																							
		その他																	1	1	1	1																			4
35	ホンジュラス	医　師																		1																					1
	第7保健地域リプロダクティブヘルス向上	看護師																																							
	プロジェクト	その他																	1	2	1																				4
36	バングラデシュ	医　師																	1																						1
	ポリオ対策	看護師																																							
		その他																																							
37	パラグアイ	医　師																		1	1		1																		3
	南部看護・助産継続教育強化プロジェクト	看護師																	1	1	2	2	1	1	1																9
		その他																																							
38	パラグアイ	医　師																																							
	アスンシオン大学日本パラグァイ友好母子セン	看護師																																							
	ター	その他																		1	1																				2
39	ラオス	医　師																		2	1																				3
	保健・医療サービス改善計画調査	看護師																																							
		その他																																							
40	ラオス	医　師																		1	1		1																		3
	セタティラート病院改善プロジェクト	看護師																																							
		その他																																							

2022年3月31日現在

	国　名	年	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	合計
41	ラオス	医　師																																							
	プライマリーヘルスケア訓練	看護師																		1																					1
		その他																																							
42	ネパール	医　師																		1	1	2																			4
	地域の結核及び肺の健康プロジェクト	看護師																																							
		その他																			1																				1
43	マラウイ	医　師																			2	1																			3
	保健サービス計画・保健地理情報システム	看護師																																							
		その他																																							
44	カンボジア	医　師																					1																		1
	医療技術者育成プロジェクト	看護師																					1	1	2		1														5
		その他																			2	2	1	1	1																7
45	パキスタン	医　師																			2	1	1	1	1																6
	結核対策プロジェクト	看護師																																							
		その他																																							
46	フィリピン	医　師																			1	1	1																		3
	保健行政アドバイザー	看護師																																							
		その他																																							
47	パキスタン	医　師																			1	1	1																		3
	保健プログラム調整	看護師																																							
		その他																																							
48	アフガニスタン	医　師																				1																			1
	保健情報システム	看護師																																							
		その他																																							
49	パキスタン	医　師																				1	2	1																	4
	保健情報管理システム整備計画	看護師																																							
		その他																																							
50	マラウイ	医　師																				1	2	1																	4
	保健医療施設開発政策策定アドバイザー	看護師																																							
		その他																																							
51	ラオス	医　師																				1	1																		2
	子どものための保健サービス強化	看護師																																							
		その他																																							
52	ザンビア	医　師																					1																		1
	ルサカ市プライマリーヘルスケアプロジェクト	看護師																																							
	フェーズ2	その他																																							
53	ガーナ、ケニア、ザンビア	医　師																					1																		1
	アフリカ地域保健行政サービス提供改善支援	看護師																																							
		その他																																							
54	ボリビア	医　師																																							
	サンタクルス県地域保健ネットワーク強化プロ	看護師																																							
	ジェクト	その他																					1	1	1																3
55	ザンビア	医　師																					1																		1
	全国保健施設センサス保健行政サービスアドバ	看護師																																							
	イザー	その他																																							
56	ラオス	医　師																																							
	看護教育改善プロジェクト	看護師																					1																		1
		その他																																							
57	マレーシア	医　師																					1	1																	2
	労働安全衛生能力向上計画プロジェクト	看護師																																							
		その他																																							
58	スリランカ	医　師																																							
	青年海外協力隊バックアッププログラム	看護師																																							
		その他																					1																		1
59	ラオス、タイ	医　師																																							
	看護助産人材育成強化プロジェクト	看護師																						1																	1
		その他																																							
60	ザンビア	医　師																						1																	1
	保健分野（HIV/AIDS）プロジェクト	看護師																																							
		その他																																							

2022年3月31日現在

	国　名	年	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	合計
61	ウズベキスタン	医　師																																							
	ナボイ州保健医療サービス改善計画調査	看護師																																							
		その他																						1																	1
62	マラウイ	医　師																						1																	1
	保健施設計画	看護師																																							
		その他																																							
63	パキスタン	医　師																						3																	3
	地震災害救急支援	看護師																						3																	3
		その他																						1																	1
64	マラウイ	医　師																												1		2	4	2	2		2	2	1	3	19
	ISAPHムジンバ県母子保健プロジェクト	看護師																						1								2	3	2							8
	右の他、2013年より現地事務所駐在員2名を派	その他																												1	1	2	3	3			1				11
65	スリランカ	医　師																																							
	スリランカ国開発調査	看護師																																							
		その他																						2	8	4															14
66	パキスタン	医　師																						1	1																2
	開発調査保健管理情報システム整備現地作業監	看護師																																							
	理調査（IT/R)保健情報政策	その他																																							
67	ザンビア	医　師																						1	1																2
	保健施設センサスを利用した保健行政・計画策	看護師																																							
	定支援事前評価	その他																																							
68	ラオス	医　師																							1				1	1			2	2			1				8
	ISAPHカムアン県母子保健プロジェクト	看護師																						1	2									1				1	1		6
	右の他、2005年より現地事務所駐在員2名を派	その他																							2			2	1	1		3	1	1				4	1		16
69	スリランカ	医　師																																							
	青年海外協力隊（短期派遣）	看護師																																							
		その他																							1		1	1													3
70	マケドニア、セルビアモンテネグロ	医　師																																							
	南・東欧地域別特設病院経営・財務管理コース	看護師																																							
	のための視察	その他																							1																1
71	マラウイ、ザンビア	医　師																							1																1
	保健施設計画立案／保健投資計画策定支援プロ	看護師																																							
	ジェクト	その他																																							
72	インドネシア	医　師																																							
	国際緊急援助隊ジャワ島中部地震災害医療チー	看護師																																							
	ム	その他																							1																1
73	インドネシア	医　師																							2																2
	ジャワ島中部地震災害医療支援	看護師																							1																1
		その他																																							
74	パキスタン	医　師																																							
	結核対策向上プロジェクト	看護師																																							
		その他																							1	3															4
75	インドネシア	医　師																								1															1
	結核対策プロジェクト事前調査	看護師																																							
		その他																																							
76	ザンビア	医　師																								1															1
	保健投資計画策定支援プロジェクト	看護師																																							
		その他																								2															2
77	ガーナ	医　師																								1															1
	プログラム評価「アッパーウエスト州住民の健	看護師																																							
	康改善プログラム	その他																																							
78	フィリピン	医　師																								1															1
	WHO/WPRO	看護師																																							
		その他																																							
79	ドミニカ共和国	医　師																																							
	サマナ県地域保健ネットワーク強化プロジェク	看護師																																							
		その他																								1															1
80	ケニア	医　師																								1		1	1												3
	輸血血液安全性確保プロジェクト	看護師																																							
		その他																																							

2022年3月31日現在

	国　名	年	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	合計
81	ラオス	医　師																																							
	看護助産人材育成強化プロジェクト	看護師																								1															1
		その他																																							
82	ベトナム	医　師																																							
	ホアビン省保健医療サービス強化プロジェクト	看護師																																							
		その他																									1														1
83	セルビア／ボスニア・ヘルツェゴビナ／マケド	医　師																																							
	フォローアップ協力「南東欧地域 医療施設運営	看護師																																							
		その他																									2	2	2												6
84	スーダン	医　師																									1														1
	NGO技術者派遣事業	看護師																																							
		その他																																							
85	ケニア、エチオピア	医　師																																							
	アフリカ地域サブサハラアフリカ結核対策基礎	看護師																																							
	情報調査	その他																									1														1
86	中華人民共和国	医　師																																							
	中国西部大地震被害に対する国際緊急援助隊医	看護師																																							
	療チーム	その他																									1														1
87	ミャンマー	医　師																									1														1
	サイクロン被害に対する国際緊急援助隊医療	看護師																																							
	チーム	その他																																							
88	ボリビア	医　師																																							
	地域保健システム向上プロジェクト	看護師																																							
		その他																									1	1	1												3
89	インドネシア	医　師																																							
	結核対策プロジェクト	看護師																																							
		その他																									1	3	2	2											8
90	ミャンマー	医　師																																							
	主要感染症対策プロジェクト	看護師																																							
		その他																									1	3													4
91	スリランカ	医　師																													1										1
	健康増進・予防医療サービス向上プロジェクト	看護師																																							
		その他																									1	1	2	3	1	1									9
92	パレスチナ	医　師																																							
	パレスチナ・母子保健リプロダクティブヘルス	看護師																										2	1	1											4
	向上プロジェクト　フェーズ２	その他																																							
93	ハイチ	医　師																																							
	ハイチ大地震に対する国際緊急援助隊医療チー	看護師																																							
	ム	その他																											1												1
94	ウガンダ	医　師																																							
	ＪＩＣＡ保健インフラマネジメントを通じた保	看護師																																							
	健サービス強化プロジェクト	その他																											1												1
95	エリトリア	医　師																																							
	ＪＩＣＡ保健医療サービスのための医療器材管	看護師																																							
	理システム強化プロジェクト	その他																											1												1
96	マダガスカル	医　師																																							
	ＪＩＣＡエイズ予防対策強化プロジェクト	看護師																																							
		その他																											1												1
97	フィリピン	医　師																																							
	都市貧困地域の結核対策プロジェクト	看護師																																							
		その他																											1	2	1	3									7
98	インドネシア	医　師																											1	1											2
	インドネシア共和国円借款事業－インドネシア	看護師																																							
	大学整備事業	その他																																							
99	ウズベキスタン	医　師																											1	2	1	3									7
	非伝染性疾患予防対策支援プロジェクト	看護師																																							
		その他																																							
100	パキスタン	医　師																																							
	パキスタン・イスラム共和国における洪水被害	看護師																											1												1
	に対する国際緊急援助隊医療チーム派遣	その他																																							

2022年3月31日現在

	国　名	年	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	合計
101	マラウイ	医　師																																							
	ＪＩＣＡ医療機材保守運営管理	看護師																																							
		その他																												1	2	2									5
102	ベトナム	医　師																																							
	「病院経営・財務管理（B）」帰国研修員支援	看護師																																							
	に係る調査団員派遣	その他																												1											1
103	パラグアイ	医　師																																							
	プライマリーヘルスケア（ＰＨＣ）体制強化プ	看護師																												1											1
	ロジェクト	その他																																							
104	ケニア	医　師																												1											1
	案件形成調査（ソマリア人難民医療支援活動）	看護師																																							
		その他																												1											1
105	ザンビア	医　師																																							
	ルサカ市結核対策プロジェクト	看護師																																							
		その他																													1	1									2
106	ウガンダ	医　師																																							
	「病院経営・財務管理」帰国研修員支援に係る	看護師																																							
	調査団員派遣	その他																														1									1
107	フィリピン	医　師																																							
	台風被害に対する国際緊急援助隊医療チーム	看護師																																							
		その他																														1									1
108	ラオス	医　師																																							
	WPRO結核対策課支援	看護師																																							
	（胸部X線検査質向上研修）	その他																														1									1
109	スリランカ	医　師																																							
	非感染症対策強化プロジェクト	看護師																																							
		その他																																3							3
110	ラオス	医　師																																3	5	4	3	2			17
	マホソット病院病院管理研修「医療の質管理対	看護師																																							
	策」	その他																															1	4	3						8
111	ネパール	医　師																																							
	地震被害に対する国際緊急援助隊医療チーム	看護師																																							
		その他																																1							1
112	マラウイ	医　師																																							
	JICA教師海外研修プロジェクト	看護師																																							
		その他																																1							1
113	インドネシア	医　師																																1							1
	タムリン病院国際展開推進事業案件形成事前調	看護師																																							
	査	その他																																1							1
114	ベトナム	医　師																																	1	3	4				8
	タイグエン病院医療技術交流	看護師																																							
		その他																																	1	1					2
115	インドネシア	医　師																																		4	3	3	1		11
	アイルランガ大学病院医療技術交流	看護師																																				1	1		2
		その他																																		2	5	9	3		19
116	イラン	医　師																																		1					1
	JICA「病院運営・管理」講義実施に係る事前	看護師																																							
	派遣	その他																																							
117	バングラデシュ	医　師																																		1	1				2
	災害人道医療支援会　ミャンマー難民支援	看護師																																							
		その他																																							
118	バングラデシュ	医　師																																			1				1
	グリーンホスピタルサプライ(株)病院プロジェ	看護師																																							
	クト	その他																																							
119	モザンビーク	医　師																																							
	サイクロン被害に対する国際緊急援助隊医療	看護師																																							
	チーム	その他																																				1			1
	小　　計	医　師		2	1	5	1	6	6	1	4	3	6	5	6	9	16	17	12	9	13	10	15	11	7	5	2	1	4	6	2	5	6	8	8	13	15	7	2	3	252
		看護師	3	2	4	6	8	9	10	7	6	1	4	4	6	6	11	9	6	2	3	3	4	8	6	1	1	2	2	2		2	3	3				2	2		148
		その他		1		2	2	5	4	5	6	2	12	10	14	5	9	11	7	10	7	4	3	6	16	10	10	13	13	12	6	15	5	14	4	3	6	14	4		270
	合　　計		3	5	5	13	11	20	20	13	16	6	22	19	26	20	36	37	25	21	23	17	22	25	29	16	13	16	19	20	8	22	14	25	12	16	21	23	8	3	670

総数

国	44
人数	670

資料3．国別研修員受入状況

地域別にアルファベット順で表記

2022年3月31日現在

	国　名＼年	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	合計
アジア	バングラデシュ												1	1				1	1	1		1			1					1							1							9
	ブータン																				1																		16					17
	カンボジア												1	1	1					1	2	2	1	2	4	1	2	2	1	1			5	16	15	1	2	1		2		2		66
	中　国				3					2	1	3	3		1		1	1		1							1	1															18
	東ティモール																																						1	1				2
	インド																																			1	2	1	1					5
	インドネシア										3				2	7	4	3	5	6	1	1									11							15	4	9		4	1	76
	韓　国		6	4	4	8	8	11		5	9	10	15	16	27	17	21	22	24	22	13	31	32	26	30	28	16	14	26	17	17	14	17	17	12	11	11	12	10	10				593
	ラオス														1		1						2		2		6		1	1			5	1	1	13	4	8	5	5				56
	マレーシア															1						2								5								14						22
	モルディブ																											1									1		1					3
	モンゴル												1																								2		1	1			2	7
	ミャンマー							1			2					1			1				1	2		1							5	1	1	2	16	1	1	1				37
	ネパール											1					1	1																					2	1				6
	パキスタン						2	1	10	3	5	4	1	5						1	1	1	2											1	1	1	1					1		41
	シンガポール	3																																										3
	フィリピン										2			1			1	1		1	1	1		2	4	3								1	1			2	1					22
	スリランカ										1			1												1	6	6	1	6	5	2	7	3	3		1	20						63
	タイ									1	1			3		1	2		1	1	4	1	1	1	6	2							5						8				38
	台　湾							1																																				1
	ベトナム																			2	3	1	1	3		8		9	7	3	1	11	21	5	16		2	14	6	18				131
中近東	アフガニスタン																							1		6						1		21	1	1	1	2	1	1				36
	イラン																1	1																			1		1					4
	イラク																									2		1						1	1	2		11	10	8	1			37
	ヨルダン																	1																								6		7
	オマーン														1																													1
	パレスチナ																			1	3	1	1																			2		8
	サウジアラビア																			5																								5
	イエメン																														1													1
アフリカ	ボツワナ																								2																			2
	ベナン																													1								1		2				4
	ブルキナファソ																													1														1
	カメルーン																	1				1																						2
	中央アフリカ											1																																1
	コートジボワール													1					1	2	1		1	1							1								1	1				10
	チャド																													1														1
	コンゴ民主共和国																																	1	1	1	1							4
	エジプト			1	2	3	2	4			6	4	5	2	4										1				1		1	1	1	1	1		2		2	1	1	2		48
	エリトリア																1																											1
	エチオピア													1			1																							1				3
	ガボン			1																																						2	3
	ガンビア																		1																									1
	ガーナ												1	1			2									1				2							1	1						9
	ケニア															1	2	1	3	2		1																						10
	レソト																																		1	1								2
	リベリア		1								1																		1	1							1	1			1			7
	マダガスカル																						4			1	4	7	1															17
	マラウイ															2		3	2		1	1													2	2		1			3			17
	マリ																																					1						1
	モーリタニア												1																															1
	モロッコ																																				1							1
	モザンビーク																																	8			1							9
	ニジェール																1				1	1			1																			4
	ナイジェリア														1							1																						2
	ルワンダ																	1			1	1																						3
	セネガル																1					1																1						3
	セーシェルズ																			1		1		1	1	1																		5
	シエラレオネ												1			1																					2	1			1		1	7
	南アフリカ															1										1			1	1														4
	スーダン										1																						1	1	1	1	1	1		2				9
	タンザニア																1	1	1	2	1	1					1							1	1	1	2	3	2	1				19
	トーゴ																											1	1	1														3
	チュニジア																																										1	1
	ウガンダ																				1	1	2						1	1	1	2	1	1	1	1		1	2		1	1		18
	ザンビア										1	1	1		1		2	1	1	2	1	1	1		1	2												1	1			2		20
	ジンバブエ																			1														1	1	1								4

国	名 ＼ 年	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	合計
北米	アメリカ				2		1																																					3
中南米	アンティグアバーブーダ																					1			1											1								3
	ベリーズ																									1																		1
	ボリビア										2	1	2		1		1	1	2	2	2			5	5		4											1						29
	ブラジル				1				1	1	1	1				1			2						2												1	2						13
	チリ																								1																			1
	コロンビア												1										1	1																				3
	コスタリカ																				1																							1
	ドミニカ国																							1												1								2
	ドミニカ共和国															3								2										1	1		1		1				1	10
	エルサルバドル													1		1			3	1																								6
	グレナダ																																			1								1
	グアテマラ													1	1																						1			1				4
	ガイアナ																																			1								1
	ハイチ																																					1	1					2
	ホンジュラス										1	3						1				4	2	3						1							1	1						17
	ジャマイカ																				1			1																				2
	メキシコ												1					1	1																				1	1			1	6
	ニカラグア												1						1																									2
	パナマ											1					1																											2
	パラグアイ																		1				1											1	1									4
	ペルー											1		1																														2
	セントクリストファーネビス																				1															1								2
	セントルシア																				1										1	1	1			2								6
	セントビンセントグレナディーン諸島																																			1								1
	スリナム																	1																										1
オセアニア	オーストラリア								1																																			1
	クック諸島																								1																			1
	フィジー												2	1	1																	1	1					1						7
	キリバス																		1																	1								2
	マーシャル諸島																																						1					1
	ミクロネシア											1													1												1			1				4
	パラオ																								1						1	1												3
	パプアニューギニア												1								1																		1				2	5
	サモア																			1			1																					2
	ソロモン諸島													1																	1	1					1							4
	トンガ																																				1							1
	ツバル															1																								1				2
	バヌアツ															1							1			1	1				1	1	1	1					1					9
ヨーロッパ	アルバニア																										1					1	1			1		1						5
	アルメニア																	1																										1
	アゼルバイジャン																																						1					1
	ボスニア・ヘルツェゴビナ																							1		1		2	2	1	4	4	5											20
	ブルガリア																	1																										1
	フランス	1																																										1
	コソボ																																	1		1								2
	キルギス																1																						7		1			9
	リトアニア																		1																									1
	マケドニア																							1	1			3	1	1	2	2	3	1		1				1			2	19
	モルドバ																						1	1	1									1		1				1				6
	モンテネグロ																											1	2															3
	ポーランド																		1																									1
	ルーマニア																										1																	1
	セルビア・モンテネグロ																								2	1																		3
	セルビア																											1	1	1	2	2	3											10
	スロバキア																					1																						1
	スイス						1																																					1
	タジキスタン																																							1	1	1		3
	ウクライナ																						1	1	1														1					4
	ウズベキスタン																														6	8	8	8					1					31
	ユーゴスラビア																						2																					2
合計		4	7	6	12	11	14	18	12	12	37	32	39	38	42	39	46	45	54	56	43	59	59	56	70	62	42	49	49	47	56	53	91	95	63	52	64	122	85	80	10	21	13	1865

総数

国	127
人数	1865

資料４．国際協力ニュース

国際事業部では、平成 12 年 9 月 1 日に「聖マリア国際協力ニュース」創刊号を発行し、以降、院内を中心に聖マリアグループで実施されている国際協力活動に関する情報を発信してきた。国際協力ニュース発行の目的は、さまざまな国際協力活動の紹介を通じてグループ内職員の国際協力への理解を深め、協力をお願いするとともに、国際協力専門家の育成の一助となるよう目指したものである。今年度の年報においては、令和 3 年 7 月号を次項以下に掲載する。

国際協力ニュース

7月号
2021年7月8日発行
聖マリア病院 国際事業部
内線：2385

2021年度 研修実施予定

昨年度は、新型コロナウイルス感染症の流行により、これまでの活動に新たな課題が突き付けられた1年でした。しかし、コロナ禍をきっかけに、世界のどこからでもリアルタイムで参加できるウェビナーをはじめとしたオンラインツールが急速に発展し、遠隔による活動の可能性を見出すことができました。今年度は初めての試みとして、右記研修を完全オンラインにて実施することとなり、聖マリアグループが1981年以降展開してきた国際協力活動が時代に合わせ次のステージへ進もうとしています。新たな研修形式でも成果が出せるよう工夫しながら取り組んでいきます。病院内各部門はもちろんのこと、聖マリアグループ各法人との連携・協力が必要不可欠です。
ご理解・ご協力・ご支援のほど、何卒よろしくお願いいたします。各研修の実施状況は、随時お知らせする予定です。

▶JICA課題別研修「病院経営」：31カ国から選抜される42名が参加予定で、時差等を考慮しながら４コースに分けて実施します。日本との最大時差は15時間で、現地時間９時～16時に実施する場合、日本時間22時～翌5時となり、世界の広さを改めて実感します。

▶JICA青年研修「生活習慣病予防」：対象国は中東のヨルダンで、保健医療関係者が５名参加予定です。10/17～10/28の12日間、アラビア語でコースを実施します。

▶インドネシア血液透析関連事業：今年度も厚労省が実施する医療技術等国際展開推進事業に採択されました。昨年度は、アイルランガ大学がコロナ拠点病院としての対応に追われ、研修センター開設準備に留まりました。現地の感染状況を鑑み、参加者を集めての研修実施は困難であることから、準備した研修資料を用いて、エンジニア対象の研修を開催することにしています。

ISAPH 17th Anniversary!!!

NPO法人ISAPHは今年の7月で設立17周年を迎え、バースデードネーション等、様々なイベントを企画しています。詳細は、ISAPHホームページや公式Twitter、Instagramに随時アップされます。ラオス、マラウイでどんな活動を実施しているのか、ぜひチェックしてみてください。

企画１：バースデードネーション（https://syncable.biz/campaign/1806/）＋SNS応援リレーメッセージ（31日間）
企画２：2020年度 事業報告会　7月28日(水)19:00～（Zoomで開催予定）
企画３：ISAPH 佐藤事務局長と佐伯専門家の参加型トークショー 7月21日(水)19:00～
「昆虫養殖にかける想い」をテーマに台本なしのフリートーク （Zoomで開催予定）
企画４：世界の医療団さんとのコラボセミナー

▼ISAPH ホームページ

ISAPH古本募金　2020年度の寄付金総額は12,343 円

2017年より、不要になった古本等が古本募金運営会社を通して換金されNPO法人ISAPHに寄付される、古本募金を実施しています。2020年度の寄付金総額は12,343円でした。皆さまのご協力に大変感謝いたします。今年度も引き続き不要な本やＤＶＤなどを受け付けています。回収ボックスは外来棟1階中央出入口と外来棟7階エレベーター前の2カ所に設置しています。また、ご自宅からの郵送も可能ですので、「きしゃぽん」でウェブ検索してみてください。寄付対象になる物とならない物がありますので、ご協力の際にはご注意ください。

対象となるもの

・ＩＳＢＮ（国際標準図書番号）がある書籍
（裏表紙に表示されています）

ISBN978-4-1234-5678-9
（ISBN 見本）

・DVD、CD、ゲーム、スマホ
※状態が良いもの

対象とならないもの

・新聞、週刊誌、コンビニコミック、マンガ雑誌、百科事典、辞書、個人出版本
・ＩＳＢＮがない書籍
・ビデオテープ、レコード
・付属品が欠品している
・著しい汚れ、破損がある
・異臭がする

― 国際協力にご興味のある方は、お気軽に国際事業部へご連絡ください ―

編集後記

令和 3 年度の聖マリア病院国際協力年報第 23 号をお届けいたします。本誌をはじめ聖マリアグループの国際協力活動に対するお問い合わせ・ご意見・ご感想などがありましたら、どしどしお寄せください。

今後ともご支援をよろしくお願いいたします。

令和 4 年 8 月 31 日

国際事業部　藤堂　かつら